

(7) 他の教科の免許状を取得する方法

ア 中学校教諭の普通免許状

中学校教諭の普通免許状を有する者が、他の教科についての中学校教諭の普通免許状の授与を受けようとする場合は、次の表の定めるところにより、単位を修得しなければなりません。(別表第4)

授与を受けようとする他の教科についての免許状の種類	有することを必要とする免許状	最低修得単位数			
		教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	合計
中学校教諭専修免許状	中学校教諭専修免許状	20	8	24	52
中学校教諭一種免許状	中学校教諭専修免許状又は中学校教諭一種免許状	20	8		28
中学校教諭二種免許状	中学校教諭専修免許状、中学校教諭一種免許状又は中学校教諭二種免許状	10	3		13

備考

- 1 専修免許状の授与を受ける場合の「教科又は教職に関する科目」の単位は、大学院の課程又は大学（短期大学を除く。）の専攻科の課程において修得するものとする。
- 2 「教科に関する科目」については、次ページの免許教科の種類に応じた科目について、専修免許状又は一種免許状の授与を受ける場合はそれぞれ1単位以上20単位を、二種免許状の授与を受ける場合は1単位以上10単位を修得するものとする。
- 3 「教職に関する科目」については、当該教科の指導法の単位を修得しなければならない。

中学校の教科に関する科目

教科	教科に関する科目	教科	教科に関する科目
国語	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。) 国文学(国文学史を含む。) 漢文学 書道(書写を中心とする。)	保健	生理学及び栄養学 衛生学及び公衆衛生学 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)
社会	日本史及び外国史 地理学(地誌を含む。) 「法律学、政治学」 「社会学、経済学」 「哲学、倫理学、宗教学」	技術	木材加工(製図及び実習を含む。) 金属加工(製図及び実習を含む。) 機械(実習を含む。) 電気(実習を含む。) 栽培(実習を含む。) 情報とコンピュータ(実習を含む。)
数学	代数学 幾何学 解析学 「確率論、統計学」 コンピュータ	家庭	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。) 被服学(被服製作実習を含む。) 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。) 住居学 保育学(実習を含む。)
理科	物理学 物理学実験(コンピュータ活用を含む。) 化学 化学実験(コンピュータ活用を含む。) 生物学 生物学実験(コンピュータ活用を含む。) 地学 地学実験(コンピュータ活用を含む。)	職業	産業概説 職業指導 「農業、工業、商業、水産」 「農業実習、工業実習、商業実習、水産実習、商船実習」
		職業指導	職業指導 職業指導の技術 職業指導の運営管理
音楽	ソルフェージュ 声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。) 器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。) 指揮法 音楽理論、作曲法(編曲法を含む。)及び音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	英語	英語学 英米文学 英語コミュニケーション 異文化理解
		宗教	宗教学 宗教史 「教理学、哲学」
美術	絵画(映像メディア表現を含む。) 彫刻 デザイン(映像メディア表現を含む。) 工芸 美術理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	備考	1 教科に関する科目は、一般的包括的内容を含むものでなければならない。 2 英語以外の外国語の教科に関する科目の単位の修得方法は、それぞれ英語の場合の例によるものとする。 3 「」に表示された教科に関する科目の単位の修得方法は、「」に表示された教科に関する科目の中から1以上の科目について単位を修得すること。なお、「農業、工業、商業、水産」の修得方法は、これらの科目のうち2以上の科目(商船をもって水産と替えることができる。)についてそれぞれ2単位以上を修得するものとする。
保健 体育	体育実技 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」及び運動学(運動方法学を含む。) 生理学(運動生理学を含む。) 衛生学及び公衆衛生学 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)		

## イ 高等学校教諭の普通免許状

高等学校教諭の普通免許状を有する者が、他の教科についての高等学校教諭の普通免許状の授与を受けようとする場合は、次の表の定めるところにより、単位を修得しなければなりません。（別表第4）

授与を受けようとする他の教科についての免許状の種類	有することを必要とする免許状	最低修得単位数			
		教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	合計
高等学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状	20	4	24	48
高等学校教諭一種免許状	高等学校教諭専修免許状又は高等学校教諭一種免許状	20	4	/	24

### 備 考

- 1 高等学校教諭専修免許状の授与を受ける場合の「教科又は教職に関する科目」の単位は、大学院の課程又は大学（短期大学を除く。）の専攻科の課程において修得するものとする。
- 2 「教科に関する科目」については、次ページ以降の免許教科の種類に応じた科目について、それぞれ1単位以上計20単位を修得するものとする。
- 3 「教職に関する科目」については、当該教科の指導法の単位を修得しなければならない。

高等学校の教科に関する科目

教科	教科に関する科目	教科	教科に関する科目
国語	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。) 国文学(国文学史を含む。) 漢文学	書道	書道(書写を含む。) 書道史 「書論、鑑賞」 「国文学、漢文学」
地理 歴史	日本史 外国史 人文地理学及び自然地理学 地誌	保健 体育	体育実技 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」及び運動学(運動方法学を含む。) 生理学(運動生理学を含む。) 衛生学及び公衆衛生学 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)
公民	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」 「社会学、経済学(国際経済を含む。)」 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	保健	「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」 衛生学及び公衆衛生学 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)
数学	代数学 幾何学 解析学 「確率論、統計学」 コンピュータ	看護	「生理学、生化学、病理学、微生物学、薬理学」 看護学(成人看護学、老年看護学及び母子看護学を含む。) 看護実習
理科	物理学 化学 生物学 地学 「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	家庭	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。) 被服学(被服製作実習を含む。) 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。) 住居学(製図を含む。) 保育学(実習及び家庭看護を含む。) 家庭電気・機械及び情報処理
音楽	ソルフェージュ 声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。) 器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。) 指揮法 音楽理論、作曲法(編曲法を含む。 )及び音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	情報	情報社会及び情報倫理 コンピュータ及び情報処理(実習を含む。) 情報システム(実習を含む。) 情報通信ネットワーク(実習を含む。) マルチメディア表現及び技術(実習を含む。) 情報と職業
美術	絵画(映像メディア表現を含む。) 彫刻 デザイン(映像メディア表現を含む。) 美術理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	農業	農業の関係科目 職業指導
工芸	図法及び製図 デザイン 工芸制作(プロダクト制作を含む。) 工芸理論、デザイン理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。)	工業	工業の関係科目 職業指導
		商業	商業の関係科目 職業指導
		水産	水産の関係科目 職業指導
福祉	社会福祉学(職業指導を含む。) 高齢者福祉、児童福祉及び障害者福祉 社会福祉援助技術 介護理論及び介護技術 社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。) 人体構造及び日常生活行動に関する理解 加齢及び障害に関する理解	商船	商船の関係科目 職業指導
		備考	1 教科に関する科目は、一般的包括的内容を含むものでなければならない。 2 英語以外の外国語の教科に関する科目の単位の修得方法は、それぞれ英語の場合の例によるものとする。 3 「 」に表示された教科に関する科目の単位の修得方法は、「 」に表示された教科に関する科目の中から1以上の科目について単位を修得すること。
職業指導	職業指導 職業指導の技術 職業指導の運営管理		
英語	英語学 英米文学 英語コミュニケーション 異文化理解		
宗教	宗教学 宗教史 「教理学、哲学」		